

人文学部卒業研究

書道の世界

～私の師範は何からインスピレーション

題目
ンを得ているのか～

指導教授

三摩真己

印

提出年月日

2018年 12月 14日

学籍番号

HI15063

氏名

山崎真央

書道の世界～私の師範は何からインスピレーションを得ているのか～

HI15063

山崎真央

要旨

本作品は、芸術書道作品を制作する上で何からインスピレーションを得ているのか、私の師範である岡恵花を中心としてとらえた映像作品である。書道の歴史は諸説あるが、4世紀に中国で王羲之の書によって芸術性のある物として確立されていったというのが有力である。日本においても三跡の一人である小野道風が王羲之に影響を受けながらも芸術としての書を確立させた。小野道風は平安時代初期から中期にかけてそれまでの中国的な書風から、日本人の感性に合った芸術性の高い和様の書として変化させ日本へ普及させたとされている。小野道風の芸術性の高い和様の書は現代的な書として評価され、和様の書の創設者として日本書道界史上に特筆すべき人物なのである。我々が生活している春日井市はそんな小野道風が生まれたまちと、少なくとも江戸時代中期以前から言い伝えられており、全国でも珍しく書の美術館として「春日井市道風記念館」が春日井市松河戸町にある。今回の調査では記念館内の撮影に関しては許可が下りなかった為、外観や記念館を建てるきっかけとなった、小野社や小野朝臣遺跡碑自体を中心に撮影することとした。

私の師範である岡恵花は基礎の書道以外にも小野道風のような芸術性の高い和様書道も制作しており、作品の中に自分の個性を入れた書体や、芸術作品を制作していく上での道具のこだわりなどがある。その様な書体や、芸術としての書の作品を制作するにあたって、どのような物からインスピレーションを得ているのかをインタビューした。師範は作品を制作する際に、花や動植物を見て触り魅力を感じてそこからインスピレーションを得ているという事が分かった。四季の草花が豊かにある名古屋の徳川園や動物園などに年に各4回足を運び、それらを題材として詩を作り、そこから芸術としての書道作品を制作している。

今回の研究で明らかになった師範の作品制作のありようを今後の自分の創作活動や、自身の師範資格取得の為に活かしていくこととしたい。

キーワード

岡恵花 書道 芸術としての書 インスピレーション 小野道風 王羲之 書体

目次

| | | |
|------|-----------------|-----|
| 1. | テーマ選択理由 | 1 |
| 2. | ねらい | 1 |
| 3. | 構成 | 2 |
| 3.1 | アバン | 2 |
| 3.2 | タイトル | 2 |
| 3.3 | 書家・岡恵花とは | 2 |
| 3.4 | 書道のこだわり | 2 |
| 3.5 | 王羲之の説明 | 3 |
| 3.6 | 小野道風の説明 | 3 |
| 3.7 | 作品展に向けて | 4 |
| 3.8 | インスピレーションを得るために | 4 |
| 3.9 | 作品作り | 5 |
| 3.10 | あま市での作品展 | 5 |
| 3.11 | まとめ | 6 |
| 4. | この作品を通して学んだ事 | 6 |
| | 参考 Web ページ | 7 |
| | 付録1 構成表 | i |
| | 付録2 台本 | xxi |